

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立中央体育館
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	体育館及びスポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度85%以上
指定管理者名	スポーツパーク八幡屋活性化グループ
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績(体育館)

成果指標		利用者満足度
数値目標		85%
年度実績		98.0%
達成率		115.3%

2 管理運営の成果・実績(トレーニング室)

成果指標		利用者満足度
数値目標		85%
年度実績		99.1%
達成率		116.6%

利用状況 (メインアリーナ)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	78.7%	69.7%	9.0%

利用状況 (サブアリーナ)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	94.7%	77.5%	17.2%

利用状況 (トレーニング室)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	60,692	42,768	17,924
稼働率			

利用状況 (柔道場)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	79.3%	74.1%	5.2%

利用状況 (剣道場)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	75.8%	69.3%	6.5%

令和4年度 指定管理者年度評価シート

利用状況（会議室大）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	52.7%	40.9%	11.8%

利用状況（会議室中）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	36.8%	28.6%	8.2%

利用状況（会議室小1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	38.2%	31.8%	6.4%

利用状況（会議室小2）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	33.6%	25.1%	8.5%

利用状況（会議室小3）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	41.3%	27.5%	13.8%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	258,819,550	318,167,492	1,474,180	キャンセル補填/100万超負担分/仕様変更による精算
	計画	257,345,370	257,353,000		
利用料金収入	実績	261,285,030	165,911,650	48,685,030	国際大会や有料イベントの増加による
	計画	212,600,000	194,400,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	82,396,544	47,675,079	27,422,544	新規教室の開設および施設利用の増加による 自販機、駐車場の売り上げ増による
	計画	54,974,000	51,130,000		
合計	実績	602,501,124	531,754,221	77,581,754	
	計画	524,919,370	502,883,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	134,153,821	128,692,700	-3,154,243	人員配置や勤務スケジュールの見直しによる
	計画	137,308,064	137,216,064		
物件費	実績	389,908,990	373,495,325	38,186,684	メインアリーナの床修繕、経年劣化による不 具合修繕を実施したことによる
	計画	351,722,306	330,775,936		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	33,566,464	24,917,729	-2,322,536	光熱水費の高騰を鑑み、その他の支出を抑制 したことによる
	計画	35,889,000	34,891,000		
合計	実績	557,629,275	527,105,754	32,709,905	
	計画	524,919,370	502,883,000		

令和年4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	115.3%	A	
利用者満足度	116.6%	A	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要な照明の消灯に努めたことによる節電効果 ・ 電力の契約先見直しによる削減 ・ トイレ、シャワーの流量制限 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<p>・ 施設内で特に良かったところを集計した結果、昨年度に引き続き「トレーニング機器が充実している」「スタッフや指導者の対応・接客がよい」「清掃が行き届いている・清潔感がある・トイレがきれい」が上位を占めておりました。職員の対応やトレーニング機器の充実が高い評価を得られたのは、我々が目標に挙げ、日々取り組んできていることの成果だと考えます。</p> <p>・ 改善すべきところについては、「トイレが古い」「トイレの洋式化」「ウォシュレットの設置」など、トイレについての内容が最も多く5件ありました。またコロナ禍において撤去していた血圧計の設置を求めのご意見もありましたので、状況を見つつ再設置していきます。いただいた様々なご意見を真摯に受けとめ、引き続き皆様が気持ちよくご利用いただける施設を目指し対策を検討します。</p>
--

6 外部専門家意見

<p>コロナ禍から回復傾向が示され、種々の施設の稼働率、トレーニング室の利用者数などが、前年度を上回り、国際大会や有料イベントの開催なども相俟って、施設利用料収入が前年度、また今年度の計画を上回っていることは、評価に値する。同様に、自動販売機や駐車場の増収があるものの、新規教室の開設などともない、自主事業収入が前年度、また今年度の計画を大幅に上回っていることも評価できる。とりわけ、自主事業における大幅な増収が遂げられているにもかかわらず、自主事業における支出が計画を下回るなど、事業効率が飛躍的に向上していることは、民間事業者に公の施設を委ねたことが功を奏していることを意味づけているものと思われる。加えて、高い利用者満足度を維持していることも評価でき、老朽化する施設のメンテナンスなど、経営上の工夫や改善がより一層求められるが、大阪市の「顔」といえるこの施設の経営にさらに尽力してもらいたい。その他収入および修繕にかかる物件費は計画を上回っているため、年度毎の計画の見直しが必要と考えられる。</p>

令和年4年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

施設名称	大阪プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度85%以上
指定管理者名	スポーツパーク八幡屋活性化グループ
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		85%
年度実績		95.4%
達成率		112.2%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		—
達成率		—

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		85%
年度実績		90.0%
達成率		94.4%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	143,653	92,153	51,500
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	25,433	26,319	-886
稼働率			

令和4年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	327,008,593	395,194,398	2,461,583	キャンセル補填/100万超負担分/仕様変更による精算
	計画	324,547,010	323,473,131		
利用料金収入	実績	72,507,750	57,090,750	9,207,750	新規の大会や新規利用団体を誘致できたことやアイススケート場の早朝深夜の専用使用枠を設けたことによる増
	計画	63,300,000	55,470,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	50,177,902	39,394,141	4,447,902	新規教室の立ち上げによる増
	計画	45,730,000	39,760,000		
合計	実績	449,694,245	491,679,289	16,117,235	
	計画	433,577,010	418,703,131		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	93,030,194	91,941,529	2,577,679	感染症対策に伴う業務量の増加による増
	計画	90,452,515	90,203,515		
物件費	実績	328,994,449	362,666,738	28,174,954	老朽化した備品の更新や修繕、光熱水費の高騰による増
	計画	300,819,495	286,732,616		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	47,352,590	44,266,771	5,047,590	新規教室の開講、専用使用枠の増設による事業にかかる人件費の増
	計画	42,305,000	41,767,000		
合計	実績	469,377,233	498,875,038	35,800,223	
	計画	433,577,010	418,703,131		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	112.2%	A	
利用者満足度	94.4%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 不要な照明の消灯に努めたことによる節電効果 電力の契約先見直しによる削減 トイレ、シャワーの流量制限 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<p>・施設内で特に良かったところを集計した結果、昨年度に引き続き「トレーニング機器が充実している」「スタッフや指導者の対応・接客がよい」「清掃が行き届いている・清潔感がある・トイレがきれい」が上位を占めておりました。職員の対応やトレーニング機器の充実が高い評価を得られたのは、我々が目標に挙げ、日々取り組んできていることの成果だと考えます。</p> <p>・改善すべきところについては、「トイレが古い」「トイレの洋式化」「ウォシュレットの設置」など、トイレについての内容が最も多く5件ありました。またコロナ禍において撤去していた血圧計の設置を求めるとの意見もありましたので、状況を見つづ再設置していきます。いただいた様々なご意見を真摯に受けとめ、引き続き皆様が気持ちよくご利用いただける施設を目指し対策を検討します。</p>

令和4年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

屋内プールとアイススケートという特殊な施設の管理運営は、光熱費などの高騰によって、施設経営全体に強く影響を与えるものの、収支が赤字になったことについては、公共施設の指定管理者を担う民間事業者として、重く受け止めてもらいたい。指定管理を請け負う複数の施設トータルでは、黒字化しているものの、利用料収入と自主事業収入がともに増額していることを踏まえれば、経営ノウハウを有する民間事業者が公の施設の経営を担いながら、赤字化している現状は適切とはいえない。光熱費の高騰、また備品の更新や修繕による物件費が計画を大幅に上まわっているが、市民生活が戻った現在、利用者の増員を図るなど、さらなるマーケティング努力を重ねて、次年度の事業実績は、黒字化を図ってもらいたい。利用料金収入および物件費支出、その他事業費の支出についても、計画の見直しが必要と考えられる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	